

◎ (配点) ①…各2点、②・③…各1点、④1・⑤6Ⅰ…各8点、④6・⑤6Ⅱ…各6点、その他…各4点

⑤	①
側近	改正
⑥	②
旗手	唱(える)
⑦	③
快拳	入浴
⑧	④
行司	競走

①	②	③	④	⑤
ば	と	ぼ	え	
③	①	②	③	④
	口	顔	手	目

(2) 「面」も可

④	①
	た 働 食
	生 力 品
	き 、 を
	物 焼 作
	の 却 る
	命 処 過
	を 理 程
	粗 に で
	末 か 使
	に か 用
	し る さ
	て 費 れ
	い 用 る
	る を エ
	点 無 ネ
	。 駄 ル
	に ギ
	し ー
	、 や
	ま 労

(同意可)

② 食 品 廃

③ 三 手 学 バ イ ト 先 で 三 手 学 食 べ 残 し を

(3) 完答

④ イ 5 こ れ ら

⑥	せ 製
	る 造
	た さ
	め れ
	。 る
	食 品
	を 決
	め ら
	れ て
	い る
	規 格
	に 合
	わ

(同意可)

⑦ (7) 完答
7 A エ B カ C イ 8 イ

⑤ 1 美 人 2 エ 3 エ

④ 無 愛 想 5 A キ B ウ C ア D オ

(5) 完答

Ⅰ	⑥
と 誕 家	
こ 生 に	
ろ 日 お	
。 プ 姉	
レ ち	
ゼ や	
ン ん	
ト が	
と い	
し な	
て い	
メ の	
ロ に	
ン 、	
を お	
買 姉	
っ ち	
て や	
く ん	
る の	

(同意可)

Ⅱ	⑥
約 死	
束 ぬ	
を ま	
守 で	
る メ	
た ロ	
め ン	
。 を	
買 っ	
て や	
る と	
い う	
、 妻	
と の	

(同意可)

7 イ

① すべて四年生までに習う漢字から出題した。①「改」の左側は三面で書く。右側は「欠」にならないようにする。②「唱」は字形に気をつけよう。右側は上の「日」を小さく、下の「日」を大きく書くバランスがよい。③「浴」は「浴」「溶」と間違いやすいので注意する。④は「走って障害物をクリアする速さを競うこと」なので「競走」と書く。⑤「側」を形が似ている「測」や「則」にしないように気をつけよう。⑥「旗手」は、集団の行進時に、その団体の旗を持つ人。「口手」で人を表すこととは「投手」「名手」「運転手」など多くある。⑦「拳」の上の部分はカタカナの「ツ」のように書こう。⑧「行司」はこの場合、相撲すもうにおいて勝敗を判定する人。手にしているものは「軍配」という。

② ①「はばかり」はさしきわりがあつてつつし、遠慮えんりょすること。②の「うとい」はこの場合、「よく知らない」という意味だが、他にも「親しくない」という意味もある。③「おぼつかない」はここでは「あやふや」「不明確ふめいかく」という意味である。④「あえない」はこの場合、「あつけない」と同意である。

③ ①「口をすっぱくして」は「同じことばをくり返し言って」ということ。②「顔から火が出る」は「恥ずかしくて顔が赤くなる」こと。③「飼い犬に手をかまれる」は「恩おんを与えた相手から思わぬ害を受ける」こと。④は「目の上のこぶ」ともいい、「自分より地位や力の上で、自分のじやまになる存在そんざい」のこと。

④ 1 直後に「一つめは……二つめは……三つめは……」と並列ひんれいされているので、それぞれの問題をまとめて書く。

2 線②をふくむ一文に「さらに、その約四分の一が食べられる部分(食品ロス)だといわれており、……」とあるので、何の「四分の一」が「食べられる部分(食品ロス)」になるのかをここより前からさがすと、「廃棄物全体【約二兆円】の半分が食品廃棄物【約一兆円】で、さらにその約四分の一が食べられる部分(食品ロス)【約二五〇〇億円】」「【内は処理にかかる費用】」というつながりが見えてくる。「食品廃棄物」の四分の一が「食べられる部分(食品ロス)」というわけである。

3 線③の直後に「形だけ」の削減の具体例が紹介されている。並列の目印である「し」に注目してさがそう。

4 ④・⑤をふくむ文は直前の「……食品ロスが社会や私たちの生活にどうつながっているのか、どうすればロスを減らしているのかをよく考えて、日々の行動に結び付けていくことが重要です」という文の言いかえになっている。そうすると④には「目的」、⑤には「手段」がはいることがわかる。

5 「食品ロスが減らない理由を考える前に……」とあるので、直後には書かれていないと見当をつけて、「食品ロスが減らない理由」を気かけながら先を読み進めていくと、本文最後の段落に「これらからわかるのは、食品ロスが減らない理由は……ということですよ」とある。あとは問いの指示に気をつけて答えよう。

6 線⑦をふくむ文を読むと、「そのため」に「野菜の端っこの部分は食べられるにもかかわらず切り取って捨てられ」るのだから「そのため」が指しているのは、線⑦の直前にある「それに合わせなくてはなりません」だとわかる。さらに「それ」が指す内容を明らかにして答えよう。

7 A:「すべての形を均一に整える」具体例として「コンビニのおでんの大根は太さが同じ」になっているので「たとえば」があてはまる。B:「食べ残しが出てしまう」ことの対策として「盛り付けを少なくして、無駄を省けばいい」というつながりなので「だから」があてはまる。C:「食品ロス」の原因が並べられているので「さらに」があてはまる。

8 不適当なものを選ぶことに気をつける。「食べ残し」が増える理由にならないのはイである。

⑤

1 ① ①がある文の二つ前の文に「みほのママはみほにそっくり」とあり、続けて「白くって、細くって、茶色い髪。やっぱり、すごく①」とある。「私」は「みほ」のことをすごく「美人」だと思っているので、「みほのママ」もそうだと考えられる。また①のあとにも「だんなさまに……美人じゃなくちゃいけないのだ」とあることも見落としてはいけない。

2 「留年」とは学生が学業不振や出席日数の不足などで進級や卒業ができないこと。喜ばしいことではないので、「自信たっぷり」に言うのはおかしい。

3 「お姉ちゃん」の「あたしね……買ってもらうんだ」という自慢話を受けての母のことばである。のろけ話をした人からかう時に用いることばである。

4 「お母さん」の誕生日にプレゼントを用意しなかったり、乾杯のときに黙ったままでもいたりしているお父さんのことを本文のうしろから三行目に「いつもどおり無愛想だった」と書いてあった。

5 A:「涙がおちた」にかかることばである。B:お弁当箱をハンカチで包み、しぼる様子である。C:両親の離婚話や自分の転校の話のあとに、「その前に期末試験かあ」とそれらよりも前にある問題にふれることで気持ちを切りかえようとしているところから「さばさばと」があてはまる。D:メロンをすくって食べる様子を表している。

6 I 直後の「お父さんは毎年……買ってくる」から「私」は「おとうさん」が「お姉ちゃん」のためにメロンを買ってきたと思っ
ている。渡す相手が家にいないのにいつものように買ってきたから「親ばかあ」と言ったのである。

II 「お姉ちゃん」が生まれたときの話から、「お母さん」のために買ってきたのは明らかである。あとはその理由を補おぎなって書けばよい。

7 両親が実はお互いたがひを思いやっていることがわかったときにみほのことを思い出したのだから、親に関する発言だろうと考えられる。
以上